（様式－3）

再 発 防 止 対 策 報 告 書

中部支部

発生日時	令和 ６年１０月 ２９日（火曜日） ９時 ２９分頃							天候	雨	
災害の程度	死亡 ― 名		負傷 １ 名		職種 電工		年令 ４２才		経験年数 １７年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下		崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ		感電	その他
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			
設備	電圧１５４ｋＶ	２回線	電線 ACSR/AC330mm^2	地線 OP/AC 70mm^2						

災害の状況

［件　　名］　電線張替工事中に、絶縁間隔測定の為がいし連移動中に墜落災害

［作業内容］　絶縁間隔測定

［発生状況］

被災者は、１LC３の絶縁間隔測定の為、がいし連へ移動する際に１LC3アーム吊材用平面補助材に取り付けたフック式移動ロープの、台付けフックに三ツ目環（三角型：穴小）が乗り上げ移動ロープ取付部が外れた。その際にバランスを崩して墜落して４５度傾斜面へ墜落し、その反動で伐採木の集積場へ転落し、その先の樹木に引っ掛かり静止した。

［被災程度］　２ヶ月（左脛骨粉砕骨折、左腓骨近位骨折、第２腰椎椎体圧迫骨折、下顎骨右骨折、左外傷性血胸）

［服装・装備］　ヘルメット、作業服、長靴、雨具（上下）、墜落制止用器具、皮手袋

［災害発生要因］

１．元請会社は、フック式移動ロープの暫定対策品を装着していない移動ロープを作業員に使用させていた。

２．被災者は、移動ロープフックの取付状態をあらためて確認していなかった。

３．被災者は、移動ロープだけでがいし連に乗り出した。

［再発防止対策］

１．フック式移動ロープは、暫定対策品・恒久対策品を使用する。又、暫定対策品は、その都度取付状態が正常であることを必ず確認して使用を行う。

２．安全事項に対する情報共有と必要事項の協議を行い、工事関係者に展開を行う。

３．元請会社と協力会社の安全ディスカッションを行い、認識の統一を行う。

４．ルールの再徹底として、がいし連乗り出し時は、移動ロープとWPロープを併用する事を社員・協力会社へ再教育を行う。

５．「がいし連乗り出し時は移動ロープとWP ロープを併用する」という表示を鉄塔昇塔脚に取付を行い安全意識の向上を行う。

６．絶縁間隔測定方法は、安定した足場が有る状態での工法手法の検討を行う。

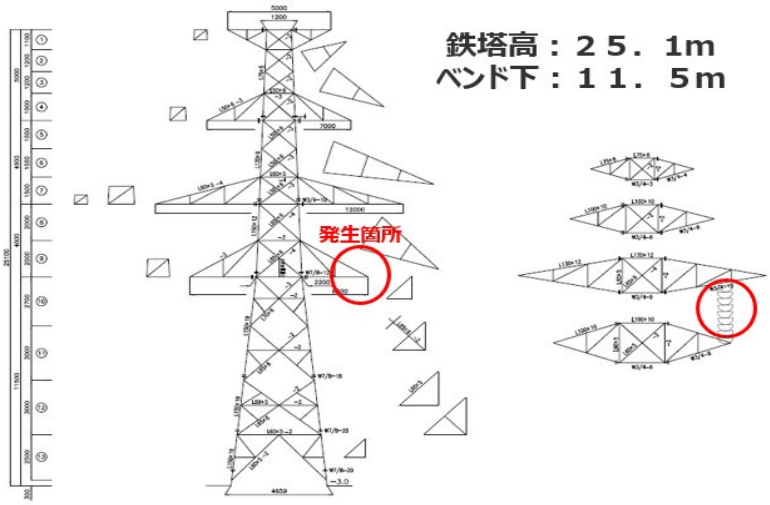
（注）1.　「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に〇印を付ける。

2　災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

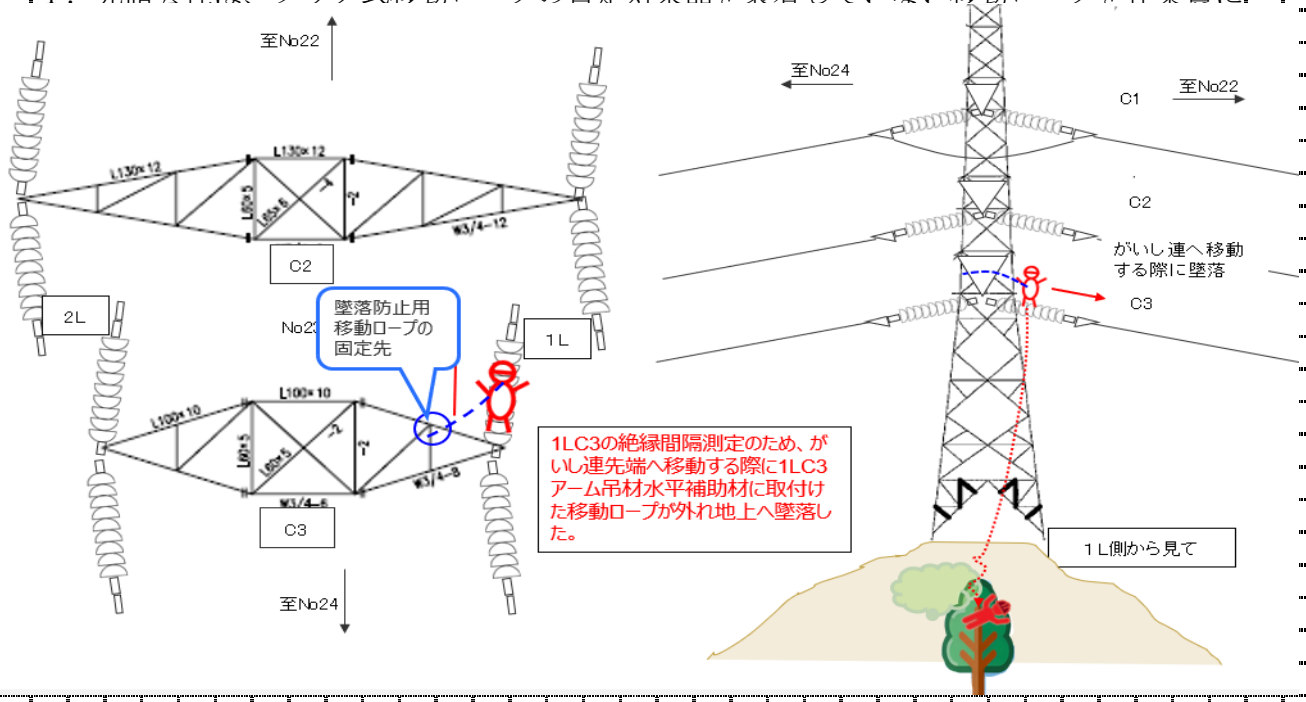
（様式－2）

災　害　概　要　図

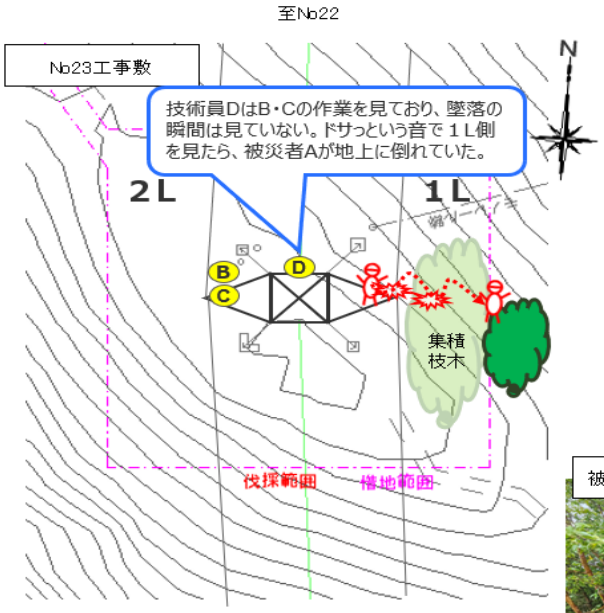
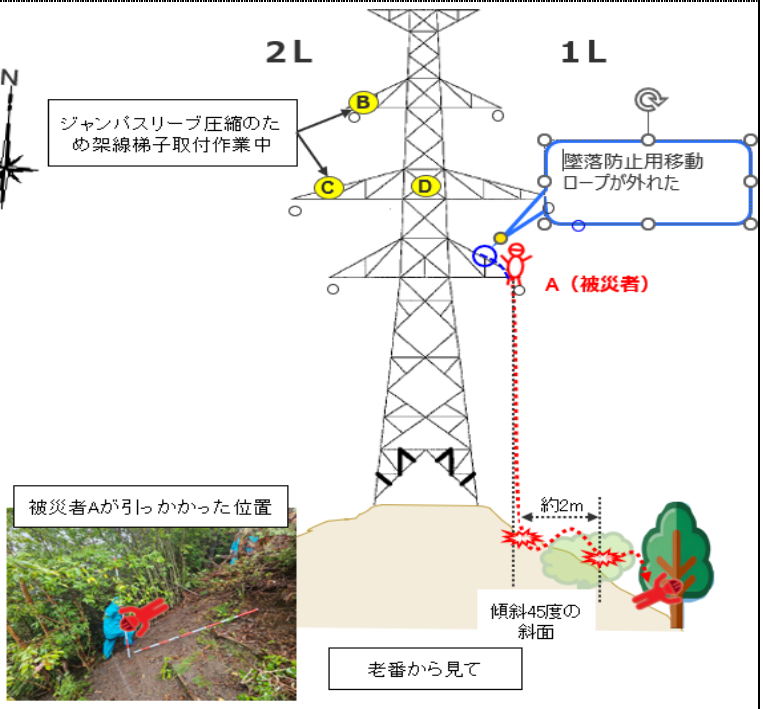
［発生状況概要図・写真］



１．元請会社は、フック式移動ロープの暫定対策品を装着していない移動ロープを作業員に



（様式－2）

災　害　概　要　図

［発生状況概要図・写真］